

# 金沢市「夕日寺環境学習会」での小学校児童の活動サポート

団体名 ● 池田ゼミナール・野外スポーツ部、フィールドプロジェクト / 代表者名 ● 池田幸應(人間科学部教授)

## はじめに

金沢市夕日寺地域は、金沢市立夕日寺小学校に加えて、本学や石川県立金沢桜丘高等学校、星稜高等学校が近隣にあり、自然に囲まれ、歴史的にも多くの遺跡等が残っている。2019年で「1300年」という節目の年に当たり、2017年6月17日に「夕日寺1300年協議会」が設立され、地域の歴史文化の調査・整備及び後世に引継ぐ体制づくりが始められた。特に子どもたちにとっての地域の自然環境に接し、身近な自然の大切さや豊かさを学習するとともに、地域の伝統野菜の金沢伝燈寺里芋栽培体験などを通じて地域への愛着と誇り、絆の醸成を行っている。一昨年度、金沢市の2017年度協働のまちづくりチャレンジ事業に夕日寺1300年協議会及び金沢星稜大学アウトドア・スポーツ・ラボ(人間科学部スポーツ学科池田ゼミナール)が「地域コミュニティ協働部門」に申請・採択され、2018年度においても、本学(アウトドア・スポーツ・ラボ、野外スポーツ部)が夕日寺1300年協議会の「夕日寺環境学習塾」の連携団体として採択され、2019年度においてもその活動が継続されている。

## 活動内容

これまで池田ゼミナール及び野外スポーツ部は、継続的に夕日寺地域での連携活動を推進しており、夕日寺地域の環境学習や歴史探訪、史跡保、金澤伝燈寺里芋普及活動等を地元子どもたちと共に行っており、本稿では、その中での「金腐川の水生生物観察会」を中心に記述する。

●「金腐川の水生生物観察会」〔2019年8月3日(土)、金沢市夕日寺地区牧大橋付近金腐川流域〕

夕日寺校下の小学生児童、幼児とその保護者を中心に本学の池田ゼミナール、野外スポーツ部、フィールドプロジェクト学生が活動サポートとして参画し、米田 豊 氏の指導による金腐川の源流確認、水質調査、水生生物の捕獲、観察及び学習を行った。



写真1 川の観察、水生生物の捕獲の様子



写真2 川で肩まで浸かる小学生の様子

## 成果、結果の考察

夕日寺地域での活動は、池田ゼミナールや野外スポーツ部の自然体験活動や小学生児童への体験活動サポートを含め、地域の連携親密化、組織化、また、夕日寺地域の1300年の節目等によって、連携組織が拡大・発展し、「1300年」のスローガンによる地域住民の意識共有により、地域コミュニティづくりが推進され始めている。活動に参画した学生たちにとっても、地域子どもたちや高齢者は勿論、行政の担当者等様々な方々との交流を通して地域の魅力や課題にも気付くことができる。特に学生たちにとっては、自然体験活動によって地域づくりが推進されて行く様子を実感できるものと考えられる。

## 今後の課題、展望

SDGsの視点からも、地域の遺跡保全や金澤伝燈寺里芋のブランディング等についても他の専門性を有する学生たちや諸団体とも協働して、地域主体の更なる継続発展活動が期待される。